

独自の技術と優れた機能で、さらに使いやすく。

業務用スキャナで培った信頼性の高い技術を採用

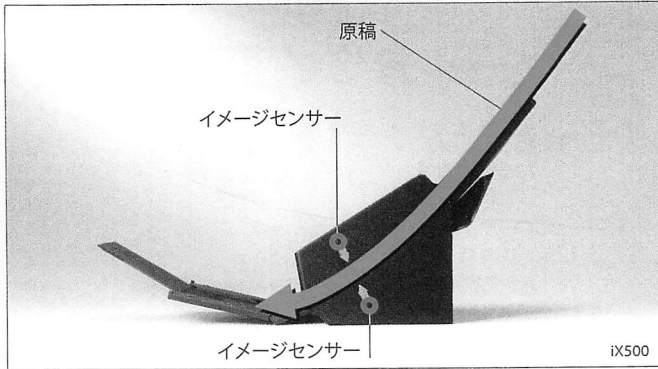
世界シェアNo.1※業務用ドキュメントスキャナ「fiシリーズ」で培った技術を採用し、安心・快適な使い心地を実現しています。

※ドキュメントスキャナを対象とする。日本・北米はInfoTrends社により集計(2013年実績)。ドキュメントスキャナ集計よりMobile/Microを除く6セグメントの合計マーケットシェア(主に8ppm以上のドキュメントスキャナ全体)。欧州はInfoSource社(2013年実績)の集計に基づき、西欧地区(トルコとギリシャを含む)におけるシェアをPFIグループにて推計(15ppm以上かつ\$500以上のドキュメントスキャナ)。

「ストレートパス」を採用

原稿を安定して読み取らせるため、ほぼ直線に近い搬送ルート(ストレートパス)になるように設計しています。読み取り時の紙詰まりを防ぎ、作業効率を向上させます。カールやしわの多い原稿でも安定した給紙が可能です。

※SV600を除きます。



「電源自動ON/OFF機能」を採用

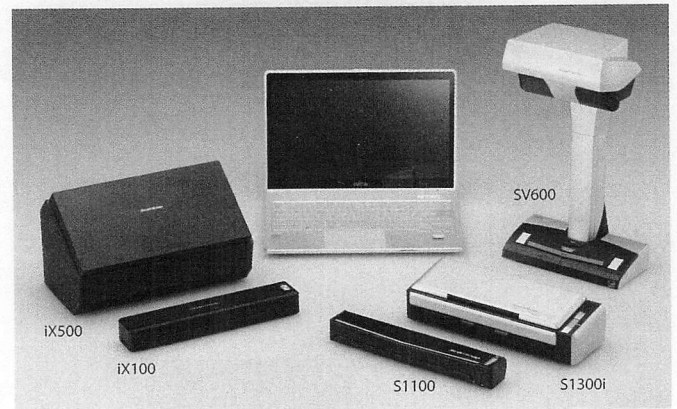
ScanSnapの電源は、コンピュータのON/OFFや、給紙カバー(原稿台)の開閉に連動します。コンピュータに接続しておけば、電源のON/OFFを意識する必要はありません。

※Wi-FiスイッチON状態では、電源連動はできません。(IX500 / IX100)

※SV600を除きます。

スタイリッシュでクールなデザインを採用

イタリアのデザイナーを起用し、「ヨーロッパンテイスト」なデザインを実現。落ち着いたフォルムは、どのような場所に設置しても調和します。



「自動給紙機構」を採用

連続読み取りを可能にする「自動給紙機構(Automatic Document Feeder)」を採用。1枚ずつ読み取らせるフラットベッド式に比べ高速で処理できるので、作業効率が格段に向上します。

※IX100 / S1100は「連続給紙機構(CDF:Continuous Document Feeding)」を採用。

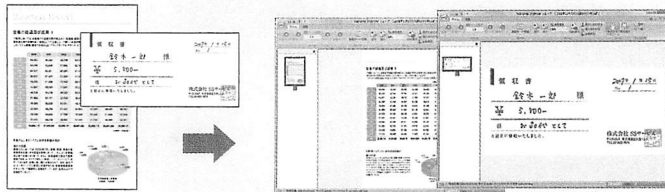
※SV600はオーバーヘッド読取方式を採用。

各種自動化機能により、読み取り前後の手間を削減

カラー原稿や白黒原稿の混載、サイズの異なる原稿を混載しても、簡単にイメージデータを生成します。

「サイズ自動検出機能」

名刺からA4原稿まで、サイズを自動的に検出するので、その都度読み取り設定を変更する必要がありません。サイズの異なる原稿を一括して読み取れます。



「カラー自動判別機能」

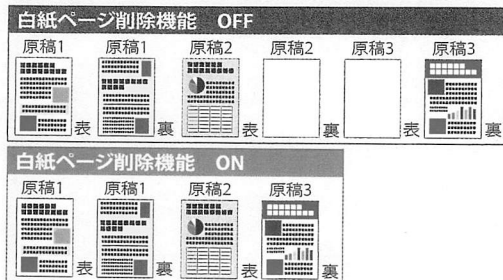
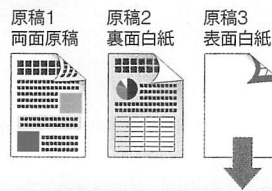
読み取った原稿の色を判別し、カラー原稿の場合はカラー、写真やイラストがある白黒原稿の場合はグレー、白黒原稿の場合は白黒で出力します。



「白紙ページ削除機能」

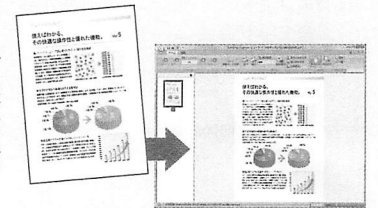
原稿に含まれる白紙ページを検出し、自動的に削除するので、仕分けの手間を省くことができます。

※SV600を除きます。



「傾き補正機能」

±5°の範囲で傾いた原稿をまっすぐに自動補正します。さらに、読取設定を変更することで、多少傾いてコピーされた原稿でも、まっすぐに補正できます。



「向き補正機能」

原稿の天地や縦横の向きを認識して自動補正するので、給紙向きにかかわらず正しい向きになります。

